

MADDの被害者支援プログラムの目的とは何か？

- 一对一の支援、被害者支援グループ、他のプログラムまたは機関へのリファーを通じて、被害者のために安心や、共感的傾聴、実際的な問題を解決するためのガイダンスを与えること。
- 適切な照会を通じて、被害者のための社会的サービス、金銭的回復サービス、および法的サービスの利用可能性を増加させること。
- 刑事裁判の進行において全ての決定的段階に参加する被害者の権利を拡張する。
- MADD 被害者支援プログラムと、犯罪被害者にサービスを提供している他機関や他のプログラムとの連携を増強する。

被害者擁護者は飲酒運転衝突の被害者を「支援」しなければならない。その意味は？

以下は効果的な被害者支援に対するいくつかの提案である。これらのテクニックを修得することで、電話、手紙、対面において最大限に効果を上げることができるはずである。

覚えておくこと：

数百名の被害者に「あなたが一番助かるのはどんなことですか」と聞いたところ、回答は下記のものに集約された：

1. 起こったことについて、何度も何度も話すことができる。
2. 私の全ての感情と関係を受け入れてもらえる。
3. 経験者と共にいることができる。

これは簡単に聞こえるが、そうではない。人々の痛みを本当に傾聴し、これに注意を払うことは難しいことである。ひどい気分以外のことについて彼らに話そうと試みることの方がずっと簡単である——しかし、それはあなたのできることのうち最悪のことである。被害者が気分良く感じ始めるのは、被害者がその痛み^に気持を傾け、これを十分に経験するときだけである。

被害者を「支援する」とはどういうことか

I. 導入

単純に！ 被害者が電話をしてこようがあなたの家や仕事場に訪れようが、あなたの最初の仕事は信頼を築くことである。あなたが被害者ならこう言おう：

「(私の名は) _____ と申します。私の(息子/娘/夫、等々)は飲酒運転で(亡くなった/けがをした)んです。」

これで全てである！ 彼らは今やあなたを信頼している。あなたが、彼らのたどる道をたどってきたからである。彼らがあなたの話についてもっと聞きたければ、彼らはあなたにそう頼むだろう。

あなたが被害者ではなければ、(私の名は) _____ と申します。私は飲酒運転衝突の被害者ではありませんが、その被害者たちの多くと一緒に仕事をしてきました。」もしあなたが被害者ではない新しい擁護者なら、独り立ちをする前に、より熟練した擁護者と一緒にいくつかのケースに当たるのが最善だろう。

II. 発言時間 Air time を得るために競わないこと！

どんな理由にせよ被害者を妨害してはならない。妨害は、彼らの経験を無価値にしてしまう。もしあなたが対一の傾聴をしているなら、アイ・コンタクトやうなずきを維持しながら積極的に聞こう。電話なら、その時々「うん“um-hm“」と言おう。個人的なインタビューに際しては、ティッシュの箱を側に置いておこう。ただし、被害者の準備ができているときに限ってこれに手を伸ばさせること。ティッシュを手渡したり被害者の背をたたくことが「あなたが泣くのを止めるよう準備ができていますよ」ということを伝えることもある。

沈黙のなかで快適であることを学ぼう。被害者が感情的であつたり泣いていたりするときには、沈黙が役に立つときもある。何か口を挟まねばならないと感じるときには、「いざこれを私に話そうとして、辛い思いをなさっているんですね」または「あなたのようなことを経験なさったばかりの方の多くは、それについて話すのを難しいと感じられるんですよ」などの言い方が役に立つ。「どうぞごゆっくり」という言葉でも、おそらく被害者は先を続けることができるようになるだろう。被害者に、あなたとの会話における沈黙は完全に問題のないことなのだと知らせよう。